

2025年8月20日
株式会社SVPジャパン

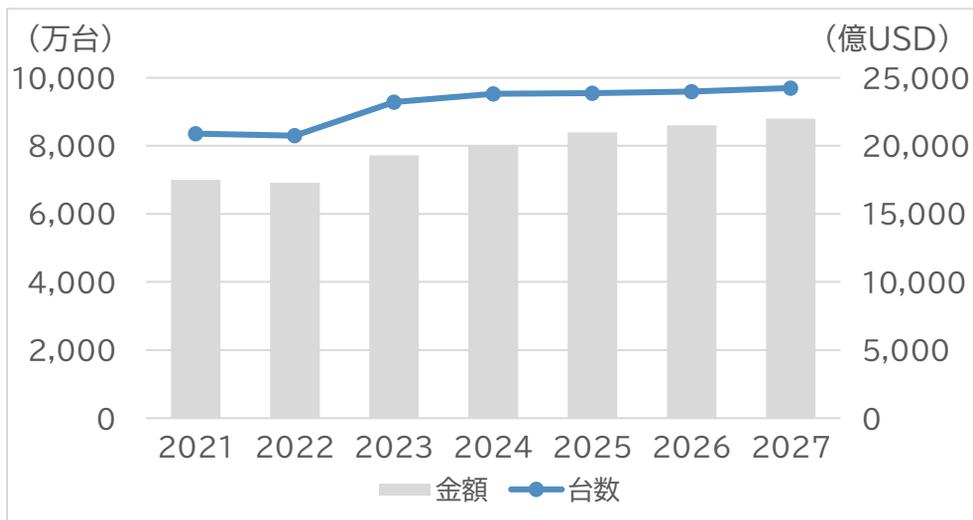
SVP注目市場分析 「自動車」を公開

～EVシフトと新興市場拡大が牽引する世界自動車市場の再成長～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「自動車-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ 自動車の世界市場



コロナ禍や半導体不足などによって一時は大きく縮小した自動車の世界市場は、2023年以降に入り回復基調に転じ、2024年には新車登録・販売台数が約9,500万台となり、2017年のピーク水準に迫る規模まで回復した。特に中国市場の堅調な拡大と、電気自動車（EV）をはじめとする電動化の加速が、市場全体の押し上げ要因となっている。

一方で、2024年に入ってから、欧米でのEV販売の一時的な鈍化や米国の関税政策（いわゆる“トランプ関税”）による市場の先行き不透明感が広がっており、今後の成長ペースには慎重な見方も出ている。また、日本市場ではトヨタ自動車やダイハツ工業による不正問題が影響し、国内販売台数が前年比約8%減となった。それでも中長期的には、新興国を中心とした需要の持ち直しが市場全体を支え、2026年には販売台数が過去最高水準へと回復、2030年に向けて緩やかな拡大基調が続くと予測される。

■ 自動車の市場概況

世界の自動車市場は、電動化の進展と新興国での需要拡大を背景に、産業構造が再編される転換期を迎えている。従来は日欧米の大手メーカーが市場を主導してきたが、近年では中国やインドといった新興国勢が急速に台頭し、とりわけ中国メーカーはEV分野で著しい成長を遂げている。また、地域ごとの電動化戦略にも違いが見られる。日本ではハイブリッド車（HV）を軸とした多様な電動化戦略が主流である一方、欧州ではEVの普及が政策主導で進められてきたが、2024年には各国政府による補助金の縮小やインフラ整備の遅れから、EV販売が一時的に減速している。こうした中、各社は市場環境に応じた柔軟な対応と提携を強化している。トヨタ自動車とBYDの合併事業や、日野自動車と三菱ふそうトラック・バスによる経営統合をはじめ、電動化や商用車領域を中心にアライアンスの再構築が進められている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただけますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



■ 次回のテーマ

9月のテーマは「建設機械」と「レーザー加工機」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com